

## 雇用の安定を第一に 人を育て品質の信頼得る

株式会社オートパーツ  
代表取締役社長

中田 秀雄 氏



るようになりました。間もなく「地域の雇用の場として継続していかなくてはいけない」と考え、代表となって法人化しました。

品質と納期は何としても守ろうと、社員一丸となって頑張った結果、お客様から組立、検査、発送の一連の製造工程を任せて頂くことになりました。これが当社のスタートです。

—新事業が業態変化に対応—  
その後、新分野へも着実に進出されていますね。

そのメーカーから信頼を得て、任せてもらう仕事もだんだん増えていきました。しかし、当時取り引きがあったのはその1社だけで、電子業界は生産の海外移転が進んでおり、いずれ電子部品の仕事はなくなってしまうだろうと思い、通信機器メーカー向けのケーブルハーネスの製作を始めました。

作業内容は全く異なり、これまで以上に高い品質基準も求められることから、辞めていく社員もいましたが、新しい仕事の必要性を繰り返し説いて、一丸になって頑張ろうと説明し理解してもらい、新分野の仕事を軌道に乗せました。これが現在、半導体部門として、当社売上の約60%を占める一番の柱になっています。一方、電子部品メーカーは海外移管が進み、電子部品は大きく減少しました。

次に、半導体部門も色々なケーブルを製作するうちに実績を評価してもらい、電子制御ユニットなどの組み立ても任せてもらえるようになり、工作機械分野に進出しました。

業態の拡大にはどのように取り組まれていますか。

とにかく人とのご縁を大切にしています。1年、2年と通って新

しい仕事を少しずつ増やす努力をしていますが、好不況の波が激しく、安定しません。電子部品分野の海外移転の時もそうでしたし、最近では精密部品の仕事を獲得しようとクリーンルームを設置した矢先に、リーマンショックがおきるなど試練の連続です。

そこで、営業を強化するため、これまで私1人で営業をしてきましたが、リーマンショックを機に営業部を立ち上げ、既存客、新規開拓はもちろん、第4の柱となる分野を模索しているところです。顧客からは厳しい品質を求められると思います。対応は？

新しく入った人や配置換えで新しい作業をする人には、社内の認定資格を取ってもらいます。仕様通り配線ができていないか、圧着しているかといった基本的な作業のテストです。

その上で、実際の作業時にはチェックシートで確認していきます。例えばある製品を5人で作る場合、2番目の作業をする人が、最初の人の作業をチェックし、3番目の人が2番目をチェックする。すべてチェックしながら5工程を終え、最後に導通検査をして完成です。納品時にはチェックシートも一緒につけてお客様へ渡します。

また、1点だけの特注品も多く依頼を受けます。全ての製品を行程ごとにチェックすることで、不

良の発生を抑えることができず。全作業員の背番号が決まっており、チェックシートから誰がどの作業を行ったかも分かります。この履歴を残すことで、不具合が出た場合や、同じ物が再発注された際に役に立っています。

外注に出すときも同様のチェック体制を求めています。

—会社一丸でものづくり—

現在、従業員は関連会社を含め65人いますが、人の手に頼る作業が大半なので、全員が一つにならないと良いものづくりができません。これが一番難しい。

親睦、交流を図るため、新年会や忘年会などの行事には、できるだけ全員参加を奨励していますし、景気が悪くても慰安旅行は必ず行うようにしています。数年に一度は海外に行っており、「ここで働いていたおかげで、初めて外国に行けた」と言われて、やってよかったと思います。

経営の上で、一番大切にしていることは何ですか。

設立時から「雇用の安定」を一番に考えてやって来ました。リーマンショックの際も、社員に苦勞はかけましたが、リストラはしませんでした。創業当初からの社員も4名いて、70歳を超えた人が自転車に乗って来ており、「働けるだけいらっしゃい」と言っています。実は、会社は田園地帯にあっ

て市街化調整区域に指定されており、工場の拡張を勝手にすることができません。一時は企業団地への移転も考えましたが、こうした地域の雇用を守りたいということと、隣接地を譲ってもらえることも重なり、残りしました。

社長として嬉しかったことは？

ある女性社員は入社時に幼子を抱えてやってきましたが、その子も大学生になり、「仕事を続けてきたおかげで、家庭を守ることができた」と言ってくれています。社員の皆さんと苦樂を共にしながら、一緒に仕事ができることが一番の喜びです。

座右の銘を教えてください。

誰の言葉でもありませんが、「苦難なしでは成長なし」との考えで、自分を勇気づけるための言葉にもしています。景気も人生も、上がった後には必ず下りがある。下がったときにどうするかが、人に与えられた試練だと思っています。

社員には、その試練を乗り越えるために、人の縁を大切にするように言っています。「自分にできることがあったら助けてあげる。助けてもらう立場になったら大いに甘えよ」と。

### 会社概要

#### 株式会社オートパーツ

創業：1989(平成元)年12月  
所在地：富山市大宮町231  
資本金：1,000万円  
事業内容：電子部品組立（ボリューム、スイッチ類加工）、ハーネス製作、制御装置組立・配線、装置設計・組立  
従業員数：65名（関連会社含む）  
グループ会社：(株)システムオート  
URL：http://www.auto-p.co.jp



### 略歴

1946(昭和21)年7月生まれ。富山市出身。高校を卒業後、会社勤めを経て、1989年12月(株)オートパーツを設立し代表取締役就任。2006年5月株式会社へ改組。